





### ブランドイメージの制定

・10月7日～12月7日に開催した「特産品&まぐろスタンプラリー」には約657通の応募がありました。また、10月10日のまぐろの日には、串木野まぐろ同友会がAコープ串木野店とアミュ広場でまぐろの日キャンペーンを行ったほか、薩州串木野まぐろのブランドマークの商標登録を行いました。



### 6次産業化の推進

・6次産業化を推進するため、6次産業化に取り組む団体に対して、販売免許の取得に係る経費や商品開発に係る経費の助成を行いました。平成27年度も引き続き支援を行っています。

## 2. 福祉及び健康の増進



### 食生活改善推進員養成講座の開催

・食生活改善推進員養成講座を行い、8人が参加し、内4人が新たに食生活改善推進員に認定されました。



### 妊産婦、乳幼児、高齢者への栄養指導

・望ましい食生活を身に付けていただくため、シルバー栄養教室（129人参加）、男性のための簡単クッキング教室（51人参加）を開催しました。また、母子手帳の交付や母子検診等で乳幼児期における望ましい食習慣等について、情報提供を行いました。



### EATde（いーとで）健康メニューの提供開始

・総エネルギー量600kcal未満、食塩相当量3g未満で栄養バランスの整った外食メニュー「EATde健康メニュー」の提供を開始しました。現在、21メニューが認定され、市内15店舗で提供されています。



### 「食のまち いちき串木野キャンパス」の開催

・11月16日に市民文化センター及び中央公民館で食育イベント「食のまち いちき串木野キャンパス」を開催し、榎木春幸氏による講演会や親子料理教室を行いました。また、食育関係団体による展示や食育体験、試食、販売等も行いました。

## 3. 教育及び伝承



### 学校・家庭・地区等での学習機会の提供

・市内各小学校の年間行事では、季節に合わせて芋の苗植えや芋掘り、田植えや稲刈り、野菜づくりなど子どもの食育に取り組みました。また、母親学級や家庭教育学級において「食」に関する学習を実施したほか、働く女性の家講座などの料理教室を開催しました。



#### グリーン・ツーリズム受入れ

・グリーン・ツーリズムとして全国から10校、405人の生徒を受け入れ、農業体験などを通して地域世代間交流を行いました。



#### ふるさとの伝統料理・技術の研究及び伝承

・市立図書館の郷土史コーナーで食に関する資料を展示したほか、生活研究グループが料理教室を通してふるさと料理の伝承に取り組みました。また、同グループが開催した食農楽バスツアーで子どもたちは農業体験やみかんジュースづくりを体験しました。

### 4. 観光及び交流



#### 観光周遊EATこバス

・鹿児島市と本市を結ぶ、観光周遊バス「EATこバス」の運行が41回行われ、延べ862人が乗車し、本市の観光施設や食事を楽しみました。



#### いちき串木野まちなか市の開催

・商店街の活性化を図るため、商店街の若手経営者によるくしっのん盛り上げ隊が、いちき串木野まちなか市を浜町アーケード（浜ん馬場）で2回開催し、多くの方で賑わいました。

#### イベント等の開催



・まぐろフェスティバルや地かえて祭、うんまかもんフェスティバル2014inいちき串木野、ふれあいフェスタin市来など年間を通して多くのイベントを開催し、たくさんの方が本市を訪れ、特産品やご当地グルメなどのPRや交流人口の拡大に努めました。

～来場者数～

まぐろフェスティバル 76,000人 市来ふれあいフェスタ 5,100人  
地かえて祭 81,000人 冠岳山市物産展 42,000人



#### 観光大使の任命

・本市の魅力をも効果的にアピールするために、著名な人物を観光大使として任命しました。平成26年度は児玉和氏（グンゼ（株）取締役社長）、原口泉氏（志学館大学教授）、久野猛氏（作家）、野上亮磨氏（プロ野球選手）を任命しました。



#### 域外イベント等への参加

・本市の特産品や観光施設をPRするため、積極的に域外イベントへ参加しました。京セラドームで開催された関西かごしまファンデーをはじめ小倉競馬場の観光物産展、小倉井筒屋観光物産展等に参加しました。